



平成19年度 第1号
2007年8月1日発行

近畿地方会ホームページ
www.kinkireh.com

日本リハビリテーション医学会 近畿地方会事務局
独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院
リハビリテーション科 住田 幹男
お問合せ先
〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地
KRP6号館304号
有限会社 セクレタリアット内 近畿地方会事務局
TEL: 075-315-8472 FAX: 075-315-8472
E-mail: office@kinkireh.com



第44回日本リハビリテーション医学会におきましては、近畿地方会の諸先生方のご後援、ご支援を頂き、本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

おかげさまで、学術集会への参加者数は、天候にも恵まれ、総数3085名と当初の予想であった2500名をはるかに上回る数になりました。最初から最後まで、熱心なリハ医学会会員の先生方で講演会場が埋め尽くされている光景を目の当たりにして、主催者としての責任を少しでも果たせたのではないかと安堵いたしました。また、会場各所で熱心な討論が行われたのも、座長、演者の先生方のご苦勞の賜物と感謝しております。

本学会では幾つかの新しいことにチャレンジしました。一つ目は、リハ実学コースとして8つのハンズオンセッションを設けました。参加者には大変好評でした。ハンズオンセッションの性格上、参加人数を絞らざるを得ませんでした。セッション講演や実技場面を国際展示場に中継、上映する案もありましたが、費用の面で断念せざるを得ず、大変残念でした。二つ目は、学会運営を日本リハ医学会近畿地方会主体で行ったことです。近畿地方会幹事を中心とした組織委員会が、平日の夜や休日を返上して準備段階から携わってくれました。新しい学会運営のスタイルを提案できたのではないかと思います。三つ目は、一般演題をすべてポスター展示として、ポスター発表の時間帯には、教育講演、シンポジウム等を行わないようにしました。その結果、ポスター展示には大変多くの先生方に参加して頂け、かつ充実した議論が行われました。このように一般演題を集中させることで、教育講演、シンポジウム等へも参加者が分散することなく集まり、こちらでも熱心な討論が行われたように思います。ただ、

学術集会を無事終えて

労働者健康福祉機構関西労災病院
リハビリテーション診療科部長
住田 幹男



785題のポスター発表では、多くのブースでの同時進行であったため、興味ある演題が聞けなかったとの声もありました。今後このような形式をとる場合の課題とされます。四つ目は、今後のアジア・オセアニア地区における若手リハビリ医との交流です。韓国を除いて、中国、ベトナム、タイ、インドネシア、オーストラリアからの参加については、準備段階で人選や抄録の提出、滞在ビザなど多くの問題が明らかになり、途中、大いに難航しましたが、何とか無事に終了することができました。五つ目は、学会二日目にリハビリテーション診療において重要な役割を担っておられる看護師の方々の協力を得て看護フォーラムを開催し、300名を超える看護師をはじめ多くの方々の参加を得ることができたことです。今後、リハビリテーション看護師認定コースの設立も間近ではないかと期待されます。六つ目はリハビリテーション医学の基礎を語る会です。人生の先輩であり、かつリハビリテーションの臨床、研究の大先輩が実験やテスト法開発の経緯・苦勞話、impact factorを得るために論文をどう書いたらいいのか、英文論文の書き方、医学統計の実際など、実際にご苦勞された場面を講義された会場には、研修単位を用意していないにもかかわらず、約250名もの参加者がありました。

本学会開催にあたりましては準備段階から資金面で苦勞しましたが、多くの企業の機器展示による協賛やリハ医学会

近畿地方会会員の先生方の勤務されているリハ病院や関連団体からの応援を頂き、大変感謝しています。

学術集会への参加者が予想をはるかに上回ったとはいえ、多々至らぬ点があり、参加して頂いた皆様にはご迷惑をかけたこと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

最後になりましたが、終始、援助を惜しまず、裏方として支えてくださった近畿地方会組織委員会委員の皆様、並びに近畿地方会の会員の皆様に深謝申し上げます。本当にありがとうございました。

CONTENTS

- ◆特集
第44回日本リハビリテーション医学会
学術集会開催報告および御礼……………1頁
- ◆包括・総合リハビリテーションの
推進に向けて……………2・3頁
- ◆日本リハビリテーション医学会
評議員選挙制度の導入について…3頁
- ◆第23回日本リハ医学会近畿地方会
学術集会会長挨拶……………4頁
- ◆第23回近畿地方会開催概要……………4頁
- ◆日本リハビリテーション医学会
近畿地方会専門医・認定臨床医
生涯教育研修会カレンダー……………5頁
- ◆〈お知らせ〉近畿地方会事務局
業務委託先の変更について……………6頁
- ◆編集後記……………6頁